

注文票

注文FAX 048-432-7335		
f a x : 電話 :	住所 :	氏名 :
	〒	
新書版 152 頁	注文数	部
定価: 本体 1300 円 + 税		
2004 年 1 月 日 発行		
<p>日本僑報社刊行日中関係の本</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『日中「新思考」とは何か』 ● 『中国人特派員が書いた日本』 ● 『永遠の隣人 人民日報に見る日本人』 ● 『日中相互理解とメディアの役割』 ● 『日中ホンネで大討論!』 ● 『中国人の見た日本』 ● 『中国人の日本語著書総覧』 ● 『日本華僑華人社会の変遷』 ● 『華僑社会の変貌とその将来』 ● 『中国人の日本奮闘記』 ● 『中国の1万2967人に聞きました。』 ● 『私が出会った日本兵』 ● 『つくる会の歴史教科書を斬る』 ● 『新中国に貢献した日本人たち』 		

中日関係に対する戦略的新思考

中国人民大学国際関係学院教授 **時 殷弘** 博士著



著者略歴 時殷弘、1951年3月江蘇省常州市生まれ。現在中国人民大学国際関係学院教授、大学院国際政治学科博士課程指導教官、中国人民大学米国研究センター主任。国際関係理論思想、国際関係史、戦略理論、現代国際政治・戦略などの分野の研究に従事。中国米国史研究会理事長(1999～2002)、中国欧州学会理事(1999～)、中国中米関係史専門研究委員会理事(1992～)を兼任。学術書『国際政治—理論探究 歴史概観・戦略思考』、『新趨勢 新構造・新規範—20世紀の国際関係』、『ナポレオンからベトナム戦争まで—近代戦略十一講』、『敵対と衝突の由来—米国の新中国に対する政策と中米関係(1949～50)』、『米国のベトナムでの干渉と戦争(1954～68)』、『米ノの協力から冷戦まで』の七冊を発表。

「対日新思考」で議論を巻き起こしている渦中の学者・時殷弘教授による日本初の論文集、ついに刊行！日本のマスコミが都合の良い部分を注目し、大きく取り上げた問題に、ノーカット「完全版」で迫る—中国語原文・日本語訳併せて収録。

今後の日中関係をいかに構築すべきか。忘れ去るのではないが、歴史問題をひとまず「棚上げ」にし、両国にとって更に緊迫した問題である安全保障・経済問題などに取り組むべきと提議する筆者渾身の名著。中国通信社訳。

「新思考」関連書籍のご案内

- 金熙徳・林治波共著 『日中「新思考」とは何か -- 馬立誠・時殷弘論文への批判』(本体 1400 円 2003.9 発行)
- 高井潔司著 『「対日新思考」論議の批判的検討 -- 新たな対話の枠組みを求めて』(本体 1300 円 2004.1 発行)
- 高井潔司ほか編著 『日中相互理解とメディアの役割』(本体 1600 円 2002.7 発行)
- 漢語迷編 『日中ホンネで大討論!』(朝日新聞香港支局長三木一哉氏推薦。本体 1800 円 2002.9 発行)
- 金熙徳著 『二一世紀の日中関係 - 戦争・友好から地域統合のパートナーへ』(本体 2500 円 2004.3 発行)
- 祁景澄著 『中国のインターネットにおける対日言論分析』(東大田中明彦氏推薦 本体 2500 円 2004.6 発行) **最新刊です。**

目次
 中日接近と「外交革命」
 中日関係において戦略的な新思考を持つ必要性
 日本が「普通の国」になる上での課題と中日関係
 中国の短期の主要な対外戦略問題と
 長期の基本戦略上のチャンス

